



手をつなご!

まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

上半期活動報告

足元を見つめながら

熊谷ブロックまつり

3.11 大震災、福島原発事故以降、どうにもならない無気力感に襲われた数ヶ月間でした。そんな中で、まちネット寄居の 7 月現在までの活動報告です。

今年もげんき!

ダンコちゃん

第2回ダンボールコンポスト交流会

循環生活研究所のダンボールコンポストインストラクター花里政江さんをお迎えして、寄居町中央公民館にて 11 名の参加。今回は、お知らせを議会事務局経由で全町会議員さんへ渡していただき、田母神町議の参加がありました。

3ヶ月で生ゴミ約 50 kgを分解

講習会は初めての方も経験者もいましたが、わかりやすい紙芝居での説明と実践のダンコを目の前に生ゴミが分解されていくとこんな状態になるのかを実感できる講習会でした。

まずは、取組の基本をしっかりと確認する所から出発。ダンボール箱はみかん箱の活用でも十分ですが、循環生活研究所で取り扱っているコンポスト専用で作製された段ボール箱は、高さが

あって蓋もでき、よく考えられたコンポスト用のものです。カバーもセットであり、しっかり全体を包み込み虫の発生を防いでくれます。細かな所でしっかりと考えられたものになっていることに改めて感心させられました。「毎日の生活で出る生ゴミは細かに刻んでコンポストに投入すれば早く分解されることは当然ですが、毎回々面倒という人は大きな野菜くずがドカンと入っても十分です。分解にちょっと時間がかかるだけ」という花里さんの説明に皆納得。なぜなら花里さんが今使われているコンポストには、大きな大根の尻尾の部分がコロンと入っていました。これなら私でもできると思えるコンポストでした。生ゴミは立派な資源。活用しなくちゃもったいない。少しでもゴミ減量をしていくための工夫を生ゴミに限らず今後もいろいろ見つけていきたいですね。



すごい 堆肥になってる

6 月 5 日生活クラブ熊谷ブロック祭りに参加。ブロックまつりは、秩父ムクゲ自然公園(皆野町)の屋内会場でした。生産者ブースと並び、ロシアン漬(浅漬)・ふわふわチョコレートケーキ・マヨネーズケーキ(チーズケーキ風味!)・果物ゼリーなどの手作り品を販売。ダンボールコンポストも持参し、関心のある方々に実物を披露。当日は、早くも突入した梅雨の晴れ間で少々暑かったのですが、大北さんのお孫さんもママと応援に来てくれました。お陰様で昼過ぎには完売となり 7,327 円の収益を得ました。ステージでは、まちネットの団体自己紹介から始まり・・・ゴスペルグループの歌声やちびっ子たちのダンスなども披露され、試食と親睦を兼ねたまつりは一日賑やかに行われました。(前日の調理と当日参加、お疲れ様でした!)

ありがとうございました～



荒川流域水質調査に参加

6月5日の午前中に全国一斉水質調査が行なわれました。生活クラブ寄居支部が参加団体ですが、まちネットは今年も9年目となる調査に参加協力しました。水質マップとなって後日結果が報告されます。

松葉のダイオキシン調査について

(6/17)

環境整備センター内での松葉のダイオキシン調査に関する話し合いがありました。(生活クラブ寄居、小川支部、環境ひろば、まちネット寄居、ワーカーズそら豆)

当日は個人の思いとして資源循環工場の問題をどのように捉えているのか、市民調査としての松葉によるダイオキシン調査をどう考えているかなどが話されました。それぞれの団体内で合意を取っての結論ではありませんでしたが、2011年度に経費の関係で重金属類の水銀調査を1検体したい、ダイオキシン類調査は生活クラブ埼玉全県の組合員へカンパを呼びかけて資金調達をすることで3年に1度のペースで調査をしていきたいことなど話されました。今後生活クラブ生協埼玉へ提案していくことの合意がなされ、7月時点では重金属類のみの調査は熊谷ブロックへの提案で可決されました。まちネット寄居は、設立当初より資源循環工場の課題に取り組んできましたが、今回の調査に関しては協力団体として関わっていくこととしました。調査結果の活用等は、今後検討していく予定です。



県ネット臨時総代会

(6/25)

主な議題は、埼玉県市民ネットワークの組織運営の見直しと今年度予算についてだった。

県ネットの運営は、運営委員会や政策委員会などの委員会に地域ネットから人を出すことで成りたっていたが、近年、その人員が確保できず、また、代理人の減少(=分担金減少)などから財政的にも大変難しく、事務局の現状維持は困難な状況にある。これらの実情から、県ネット機能について、縮小方向での見直しを運営委員会(委員以外の会員参加可)の中で検討し、来年2月の定期総代会に提案すること、および、現事務局の契約更新(12月)はしないという議案内容が提示された。当日の総代出席は15名ほどであったが、全員の発言を以て審議され賛成多数で承認された。また、今年度予算額1,605,115円と上半期執行報告も提案通り承認された。以上、簡単ですが県ネット臨時総会の報告とします。現在、地域ネットは7団体(越谷、所沢、鶴ヶ島、鴻巣、三芳、富士見、寄居)234名の会員数で、代理人(議員)は3名(越谷、所沢、鶴ヶ島)です。まちネット寄居から、県ネットの運営委員会を出すのは困難な状況ですが、何かもお任せではいけませんね。遠隔地である寄居ならではの意見が生まれるかも知れません。折をみて委員外参加できればと思っています。

それにしても、県ネットから県議が出れば、活気が出ることでしょいうねえー。でも、今回の知事選投票率の低さは、政治離れを反映しているようで・・・「日々の暮らしは政治と直結している!」と言ってもぴんと来ないという人たちに、どう働きかけていけばいいのでし

ようか? みなさんは、「知事選投票率」全国ワースト1記録(24.89%)をどう思いますか? このような政治離れが国民の生命と健康を後回しにしている政治家たちを放任することに繋がってはいないでしょうか。市民が手を休めたら、今後もどんなワースト記録が生まれるかも知れません。まずは、寄居町の住民として、住みやすい町づくりをみんなで語り合いませんか! 行政サービスを利用するときの戸惑いや、疑問はそのままにせず、ぜひ、まちネットにお寄せ下さい。みんなで考え、町や議会に働きかけていきましょう! もちろん、町長への手紙も良いですが、気になったときは気兼ねせず職員に話してみませんか。住民が声を出すこと、職員も住民の声を聴くことが、共に町づくりを進める第一歩だと思います。こういう積み重ねが町や県の住み心地の良さに繋がっていくと信じて頑張しましょう!

2011年松葉の重金属類調査

日時:2011年8月21日(日)

午前10時~11時30分

集合:埼玉県環境整備センター
事務所前 駐車場 午前10時
※草むらを歩ける格好でご参加ください。

※雨天の場合は、8月28日

(日)に延期。(小雨決行)

主催:生活クラブ寄居・小川支部・彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば

共催:生活クラブ熊谷ブロック

協力:まちネットワークよりい

ワーカーズコレクティブ キッチンそら豆



こななまちづくり



はじめに

思ってもいない時に、原稿依頼を頂いた。エッ、原稿、何を書けばいいの？そうだ、私の仕事は、家の設計やまちづくり。だから、“こななまちにしたい”といった思いを心のままに書かせてもらうことにします。しばしお付き合いを、ぜひ皆さんも一緒にあなたの地域のまちづくりを考えてみて下さい。

男衾 ～ 男衾駅周辺から明神川・吉野川流域 ～

「自然と開発と農業との調和したまちづくり」男衾地域は、自然の中に人の生活空間と農地が美しく調和のとれたまちづくりが良い。

男衾駅を中心に、現在も残っているオープンスペースや小川の流れを活かし、男衾地域のまちづくりの、景観形成の基準となるまちづくりを進めていこう。男衾駅の東口駅前広場の南東側は、今有るオープンスペース（水田）と明神川を活かして、開放的な公園にしたい。明神川は、西から東へと東上線の下をくぐり、緩やかにうねりながら公園に小さな池を形成し、更に東へと流れていく。池の周囲には緩やかに傾斜した芝生広場が広がり、木立の緑とともに駅前空間に開放的な潤い空間を提供する。そんな公園が駅前に広がる男衾駅にしたいと思いませんか。とにかく、男衾駅周辺を、田舎町のどこにでもあるような小さな家並みだけのまちづくりにはしてほしくないですね。

明神川は、更に東へ、緩やかに小被神社方面へと流れていく。その明神川の両側には、緑豊かな緑地公園が男衾駅から小被神

社方面へと広がって続いていく。明神川の流れに沿って、水と緑の公園が、男衾コミにティーセンター、寄居町ふるさと物産館（仮称/建設予定）へと続いていく。私は、男衾地域では明神川や吉野川の流れを中心に、林や農地をつなげ、水と緑の緑地や公園のネットワークをつくり、その間に住宅地をちりばめていくようなまちづくりにして行くべきだと考えています。



ところが、町は現在、このエリアを明神川に沿って良好な住宅立地としてのモデル地域にしたいと考えているようです。どうしても住宅地として開発して行くのであれば、私は絶対に明神川を活かした“せせらぎの街”としてほしいとずっと言い続けてきました。それはそれで、ここは良い住宅地になるとは思いますが、男衾駅近の住宅地として、ここで完結してしまう恐れがあります。私は、男衾駅周辺を男衾地域のまちづくりの核となる魅力的なエリアにして行くべきだと考えています。その為にも、明神川から小被神社へと続く水田地域を、駅に近い良好な住宅地にするのではなく、男衾地域全体を良好な住環境エリアとすべく、水と緑の魅力的なまちづくりの核となる環境を創造していくべきと考えます。

権田 功



あたらしい動きに注目！ 寄居町議会

4月の町議選を経て新しい体制の町議会が出発。6月議会が開催されましたが、残念ながら議会傍聴へは足を運ばませんでした。

新人7名の当選により議会の流れが変わってきているようです。新しい風の流れを少しずつですが感じられそうです。まちネットがずっと要請している常任委員会の傍聴など真に開かれた議会を求めていきましょう。さらに、今回の原発事故は私たちに大きな衝撃をあたえています。今後の国のエネルギー政策が次世代への持続可能な社会、安心して暮らせる社会となりえるのか大きな転換期です。まちネットでは、寄居町での自然エネルギーを推進する町宣言を求めていく検討をしています。

9月議会へ傍聴に行きましょう！



「原発」国民投票

6月上旬、代理人運動全国ネットより以下のような呼びかけがありました。



日本という国家の主権は国民にあります。

ですから私たち1人1人の意思が議員という代表者を通じて国家の方向性に反映されていくべきです。今回福島で原発事故が起こってしまいました。

多くの国民の生命や財産に関わる一大事であることは間違いありません。今後の原発のあり方を国民1人1人が真剣に考えてできるだけ早く答えを出さなければならない時が来ています。このような国家の大きな問題を考えるとき諸外国では国民投票という手段がしばしばとられてきました。

議員だけに結論を任せるのではなく、国民の1人1人が実際に投票し、みんなで決める国民投票は間接制民主主義の欠点を補う優れた方法で、ぜひ日本でも取り入れていきたいシステムです。『みんなで決めよう「原発」国民投票』は過去20年間、外国の国民投票や直接制民主主義のあり方を取材してきたジャーナリストが中心になってスタートした市民団体で原発国民投票の実現にむけて活動しています。みなさまのご参加を心よりお願い致します。



将来への責任ある選択を私たち一人ひとりが真剣に考え、判断していく大変重要な行為です。まちネットでは、組織対応ということではなく、個人対応をメインにして行こうと話し合いました。まちネットの原点である「私発」、自分たちで考え自分たちで決めていくこ

との根幹の活動と捉えています。一人でも多くの賛同者を求めています。詳細は以下にアクセスしてください。

<http://kokumintohyo.com/>

e-mail:info@kokumintohyo.com



information

お知らせ

ネット会員募集中
いつでもどうぞ！

暮らしの中で気になっていること何でも話し合いませんか？

問い合わせ・申し込みは

篠原 TEL584-5344 まで

●いましか聞けない戦争体験のお話

6年目となる今年は、学童疎開の体験談を南部敏明さんにお聞きます。小学校高学年以上の子どもたちにぜひ聴いて欲しい内容です。

9月24日(土)

会場:寄居町中央公民館

時間:午後2時30分～

詳細は後日チラシが入ります。

実験ダンコ

今回4月から2種類の基材を使ってダンコちゃんを始めてみました。通常のピートモスと糞殻くん炭のものと、我が家の林にある腐葉土に米ぬかを混ぜたものです。双方ともスタート当初はほとんど変わらず分解も進みとても順調でした。ところが腐葉土の方は、ヌカをかなりたくさん加えたため糠タニが大量発生。そこで花里さんに教わったようにビニール袋に基材を入れて日中日向に置いておきました。すると中が高温になり、虫や虫の卵、ダニなどが死滅します。この方法で何とか切り抜けることができました。ところがこの2種類の基材は、終盤になって違いがでてきました。ピートモスのものの方が許容量が多く長く投入できました。出来上がった堆肥も腐葉土の方は土っぽい感じでした。まだ畑にいていないのでその差がどれだけあるのか分かりませんが、最後まで追跡してみるつもりです。今回参加された方の中には、ネットでの情報交換などでいろいろな工夫をしながら継続されている方もいて、その取組姿勢に感心させられました。多少のトラブルがあっても楽しく、なんでも面白がってやってしまう遊び心があると続きそうですよ。 大北秀子

編集後記

『地球家族』—申し訳ありませんが家の中のものを全部家の前に出して写真を取らせてください—。発展途上の国は家族と家畜、最低必要限度の物が並ぶ。先進国といわれる家族はすてきな家具や趣味の楽器などが並ぶ。中でも日本は、物が画面にあふれて、家族が物に埋まって写っている。1994年初版の写真集だ。そして今、自分の回りを見て、私たちの近代史は、モノを手に入れ豊かさを享受してきた歴史なんだ、と痛感する。いわゆる消費至上主義、である。その消費が低迷している、と経済通は指摘する。でもそれは、消費行動が冷静になった結果、だと思う。自己選択し、自己責任を持ち、自己実現に向かう。心の豊かさへ舵を切り換え始めたのだとも思う。もちろん地域生活者の一人として。ネットが目指す「自分発」。それは個々の責任が伴う。暮らしの中に、自分発をもっと取り込んでいこうと思う。(H・O)